



地域力で自然再生 (協働の森づくり)

米代東部森林管理署

8月27日(土)、管内の鹿角市八幡平熊沢国有林において、(社)鹿角青年会議所と当署が連携し、一般市民の参加を得て「地域力で自然再生」をテーマに、協働の植樹会を行いました。

植樹した箇所は、平成9年5月に発生した大規模地すべり災害である「澄川・赤川温泉土砂災害」の復旧跡地内で、昨年9月に「鹿角八幡平ふるさと森林づくり植樹祭(COP10パートナーシップ事業)」(主催は東北森林管理局・秋田県・鹿角市・米代川源流自然の会)が行われた箇所に近接する箇所で行われました。

同会議所では、今回の植樹について、地域住民と協働して行うことを通して、鹿角の自然のすばらしさ、森林の働き、大切さなどについて実感してもらおうとともに、地域の自然を愛する心を一層育み、皆んなで鹿角を元気にしていこうとの趣旨で年間行事の一つとして取り組むこととしたものです。

また、同会議所では、日頃から他県に誇れる素晴らしい鹿角の自然を活

用し、地元小学生を対象にしたキャンプ事業等、毎年、地域の元気に繋がるよう各種事業に取り組んでいるとのことです。

今年も、昨年の国連が定めた「国際生物多様性年」に続き「国際森林年」ということであり、当署としても、昨年の「国際生物多様性年」における取り組みとしての植樹祭の実施に続き、「国際森林年」の趣旨に沿って、地域と一体となった協働の取組等を推進していくこととしたものです。

なお、当日は晴天に恵まれ、地元住民など約30名が参加し、郷土樹種であるブナ、ミズナラの苗200本の植樹に汗を流しました。

また、植樹に当たっては、参加者ひとり一人が、植えた苗木の元気な成長と同じく東北の震災被災地の一日も早い復興に祈りを込めて丁寧な植え付けを行いました。

参加者からは、「昨年の植樹祭にも参加させてもらいましたが、昨年植えた苗木が、枯れずに成長している姿を見て安心しました。今日、植えた苗木も無事に成長し、この場所

が一日も早く元の森林にもどることを願っています。」などの声が聞かれました。

今回の協働の取組については、鹿角青年会議所から国有林内で植樹活動を実施したいとの要望があったことから、当署において、目的に沿った適地として同箇所を選定し、協働で実施することになったものです。

これからも、地域等との協働の取組に当たっては、地域の方々の声を聞きながら、地域活性化に繋がる各種取組等に対し、フィールド提供等の連携協力について積極的に対応していきたいと考えています。



協働植樹会の様子